

甲子プロジェクト連続講演会

『鳴尾の水資源と暮らし』

第3回「地下水保全～ 宮水（灘五郷）地域の事例紹介～」

『鳴尾の水資源と暮らし』*をテーマに連続講演会を開催いたしました。

私たちは、水道の栓を回せば飲料水が出てきて当たり前という生活をしています。大きな災害が起こって初めてそれが当たり前ではないことに気が付きます。

そんな今では想像もつかないことかもしれませんが、武庫川女子大学がある旧鳴尾村は、かつて毎年、水害と早魃に悩まされ続けていました。当時の人たちはどのようにそれに対処して生活していたのでしょうか。そして、いつからこのような便利な暮らしになったのでしょうか。また、現在、どこから、どのように安全・安心な水を得ているのでしょうか。さらに、西宮の豊かな水資源をどうやって次世代に渡していけばよいのでしょうか。

今年度は、連続5回講演会を企画いたしました。学生の皆様をはじめ地域の方々と一緒に、是非、身近な水資源について考えてみたいと思います。

*採択研究課題「聖地研究 甲子園―聖地の生成と象徴性再生産プロセスに対する住民評価の研究」(19K12597 基盤研究 (C))の一環として甲子園筋の水路にまつわる郷土史の背景を、武庫川から大阪湾まで生活美学的視点から深めます。

第3回「地下水保全 ～ 宮水（灘五郷）地域の事例紹介～」

◇日時：2023年11月11日（土）14:00 開始

◆会場：武庫川女子大学 中央キャンパス 南館 S-45 （西宮市池開町 6-46）

◇講師：済川健（スミカワ研究所有限会社 代表取締役）

◆コーディネーター：黒田智子（武庫川女子大学生活美学研究所研究員、同生活環境学部教授）

◇聴講無料・事前申込制

◆講演概要

日本を代表する酒どころ「灘五郷」は、神戸市東部から西宮市にかけての地域に分布している。都市開発が進む地域でありながら、この地域の浅層地下水は酒造用地下水としての水質を保ち続け、今もなお灘酒の品質を支えている。上水道が破壊された阪神・淡路大震災では、この地域の井戸が震災直後から一般に開放され、「命の水」として重宝された。今回は、西宮市の「宮水」を中心に「灘五郷」の地下水保全活動を紹介する。

◇講師略歴

兵庫県西宮市出身。京都大学大学院工学研究科修士課程修了後、大手事務機メーカーにおいてカラープリンタの商品化研究に従事。2001年早期希望退職後、スミカワ研究所有限会社に入社。都市開発と地下環境保全の両立をテーマに地質・地下水の調査研究に携わる。現在、灘五郷酒造組合 宮水保存調査会顧問。

お問い合わせ先

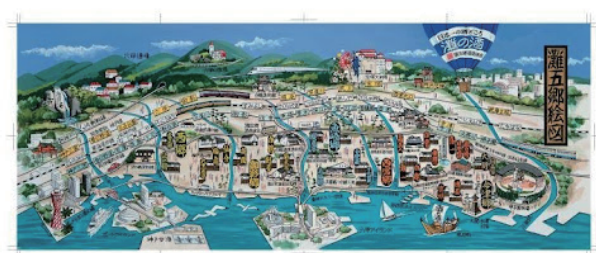
武庫川女子大学生活美学研究所

TEL: 0798-67-1291（受付時間：祝日を除く月～金 10:00-16:00）

※研究会当日のお電話は、0798-45-9992 におかけください。

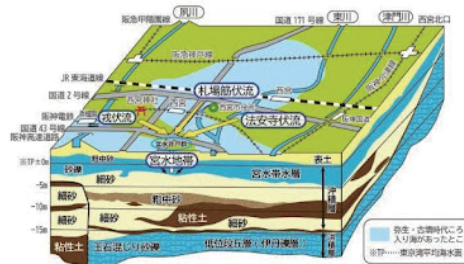
ただし、研究会運営のため不在になる時間帯もありますので、お問い合わせは余裕をもってお願いします。

E-Mail: seibiken@mukogawa-u.ac.jp



灘五郷地図

提供：灘五郷酒造組合
（転載、複製、改変等 厳禁）



宮水地帯付近の地層模式図

提供：スミカワ研究所有限会社
（転載、複製、改変等 厳禁）